

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 10 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '生涯スポーツ活動の振興' and 'スポーツ基本法'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about sports activities and administrative tasks.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for years (27-31) and rows for ①手段, ②対象, ③意図. Includes metrics like '体育協会加盟団体数' and 'スポーツを通じて健康で明るい豊かな生活を送る割合'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs (正規職員, 人件費).

Table comparing 28年度事業費実績 (千円) and 29年度事業費予算 (千円) with categories like 11 需用費 and 19 負担金補助及び交付金.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for 29, 30, and 31 years' implementation content. Includes a list of main activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	体育協会助成事業	事務事業No.	30403000098	所属課	スポーツ振興課
-------	----------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年12月に発足。旧3町村が合併して桜川市になったことに伴い、旧町村にそれぞれあった体育協会が桜川市体育協会として一本化した。</li> <li>少子高齢化や余暇時間の楽しみ方が多様化し、会員が減少傾向にある。</li> <li>傾向が競技型志向から健康志向に変わってきた。（国・県において総合型地域スポーツクラブ活動の提唱）</li> </ul>	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
スポーツ施設の充実を図ってほしい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>活動している内容や施設の利用等について、分かり易くPRや広報活動をしてほしい。</li> <li>人材発掘、指導者への研修の機会。</li> </ul>	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会の開催、各競技団体における大会の開催、市民をも対象とした「ふれあいウォーク桜川」の開催等成果は上がってきている（充実した活動が図られつつある）が、さらに市民がスポーツをする機会を増やすため、各専門部の活動内容を広報等で周知していく必要がある</li> </ul>

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている スポーツ人口の増大と技術の向上を図り、生涯スポーツの推進、市民の健康増進へ寄与する事を目的とする活動（意図）は、会員がスポーツを通じて健康で明るい豊かな生活を送るという結果に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民がスポーツに親しむための受け皿になっており、会員や主催事業に参加した市民がその活動により、上記の意図、結果を生んでいく契機となっているため、妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 研修会の開催、各競技団体における大会の開催、市民を対象とした「ふれあいウォーク桜川」の開催等成果は上がってきているが、さらに市民がスポーツをする機会を増やすため、各専門部の活動内容を広報等で周知していく必要がある。
効率性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <ul style="list-style-type: none"> <li>活動の場が減少することにより、運動やスポーツに親しむ機会が失われる。</li> <li>研修会や講習会の機会が失われることにより、人材育成や指導者養成が妨げられる。</li> <li>各個人の費用負担が増えることにより、活動の停滞につながる。</li> </ul>
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 公的な組織として、他にスポーツ少年団があり、これらが連携することにより、成果の更なる向上が期待できる。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 現在の厳しい社会情勢の中、会員数が減少傾向にあり、活動費の確保にも一人ひとりの経済的な負担が大きくなり、活動の停滞を招きかねない。
⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市施設の減免規則の改正により、従来各専門部の大会開催時に使用料が全額免除だったのが、半額減免となる。一般利用者との費用負担の公平性が計られていく事になると思われる。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・合同研修会の開催、各競技団体における大会の開催、ふれあいウォーク桜川の開催等、充実した活動が図られつつある。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
・補助金検討委員会では、補助金については時限を決めて、補助金をカットしていくとの意見であった。現時点で補助金のカットは、各専門部の活動が滞る危惧がある。各専門部の活動を精査していき、有効な活用が図れるよう、指導していく必要がある。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	④																							
		コスト削減優先度評価結果	③																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>